

平成 22 年 8 月 26 日

二瀬窯業株式会社

技術部 技術課

コンクリート補修材「整形材」 ベンリー 132 標準施工要領書

1. 下地の清掃・吸水調整

- 1) 下地コンクリートの異物、レイタンス、硬化不良部分、型枠離型剤などの脆弱部分はサンダー、ケレン棒又はワイヤーブラシ等で除去し、清掃して下さい。
- 2) 露出した鉄筋・番線・釘などは錆を除去した後、エポキシパテ等で防錆処理をして下さい。
- 3) 下地の清掃が終わった後、ユニレックス 3 (5 倍希釈) 等にて吸水調整をして下さい。

2. 材料の練り混ぜ

- ベンリー132 は、10 分以内に使い切る量を練り混ぜてください。
ハンドミキサー練り・・・1 袋 (10kg) に水約 2.3ℓを加えてハンドミキサー等で混ぜりムラのないように均一になるように練り混ぜて下さい。
※練り上がり量：1 袋 (10kg) で約 6ℓ
手練り・・・使いきる量を練りバチ (ポールなど) にベンリー132 を入れ水を加え、難度が耳たぶ程度になるように、均一に練り混ぜて下さい。

3. 塗り付け

- 補修コテ仕上げする場合
下こすり：金ゴテでコテ圧をかけながらしごき塗りを行った後、
上塗り：追っかけにて所定の厚さに塗り付けて下さい。
仕上げ：塗りつけ後 20～40 分 (温度の影響で変わります) で締まりますので、タイミングを見計らって仕上げてください。
- 補修削り仕上げの場合
下こすり：金ゴテでコテ圧をかけながらしごき塗りを行った後、
塗り付け：追っかけにて、仕上げたい形状より大きめに塗り付け下さい。
削り仕上げ：塗りつけ後、30～50 分 (温度の影響で変わります) で固くなる (指で押してへこまない状態) のを待ち、コテ側面 (又はカッターなど) で削るように形を整えて下さい。
※削り作業は少しずつ行って下さい。一度に大きく削るとポロツと欠けることがあります。

4. 養生

1. 塗りつけ後に、降雨雪の恐れのある場合または、通風・日蔭の激しいときはシート掛け等の保護養生を行って下さい。
2. 夏場施工の際には、ベンリー-132 塗り付け翌日に散水養生を行ってください。
3. 塗りつけ後の養生期間は1日以上とし、その後、次工程に移って下さい。
※ 施工翌日（又は24時間後）で歩行できます。

2. 注意事項

1. 寒冷期、気温が3℃以下及び3℃以下になることが予想される場合は、原則として施工は行わないでください
2. 練り混ぜた材料は10分以内に使用してください。
3. 固まりかけた材料は接着不良の原因になりますので、使用しないでください。
4. ベンリー-132 硬化前の雨水などによる濡れは、発火の原因になりますので養生して下さい。
5. 欠損部の鉄筋が露出してモルタルを厚付けする必要が生じた場合などは、モルタルの落下を防止する処置を講ずることが重要ですので、この場合は現場監督者の指示に従ってください。